

# 令和元年度台風第19号被害に伴う農地土壌調査概要

## 1. 目的

台風第19号による河川の氾濫に伴い土砂の流入や浸水があった農地の安全性を確認する。

## 2. 実施主体

JA 埼玉中央

## 3. 協力

東松山市農政課

## 4. 調査カ所

都幾川、九十九川、越辺川、新江川の流域において堤防の決壊、越水があった農地として6地区8地点を選定。場所の選定については、JA 埼玉中央及び東松山市農政課で協議の上設定。

○神戸地区、石橋地区、田木地区、正代地区、早俣地区（2か所）、古凍地区（2か所）

## 5. 調査項目

農作物への影響が考えられる重金属類（10種類：カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物、シアン化合物、水銀及びその化合物、セレン及びその化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物、銅及びその化合物）

## 6. 調査方法

### ○土壌採取

日 時：令和元年12月16日（月）10時30分～13時30分

場 所：別添地図のとおり

採取者：JA 埼玉中央（高橋部長、萩原センター長）農政課（岡田副参事、堀越）

方 法：1地点につき採取農地の4隅及び中央の5ポイントから、それぞれ200g程度、計1kgを採取。堆積した土砂が確認できる場合はその部分を、浸水のみで土砂の堆積がない場合は表土を採取。

### ○分析方法

日 時：令和元年12月16日（月）PM5時引き渡し

委 託：(株)環境テクノ（東松山市大谷3068-70）

分 析：含有分析法により分析